

国土交通大臣認定 PS060WL-0813

使用材料 … CMAパテ

施工手順

① 施工前

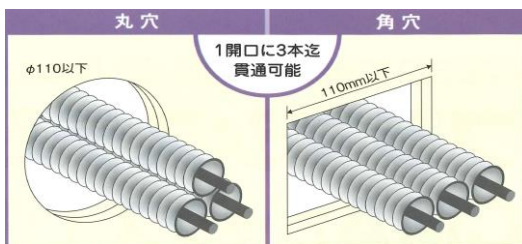
・開口、貫通物、占積率等の適用範囲を確認する。

② CMAパテの充填

・CMAパテを合計50mm以上充填・盛り上げて施工する。

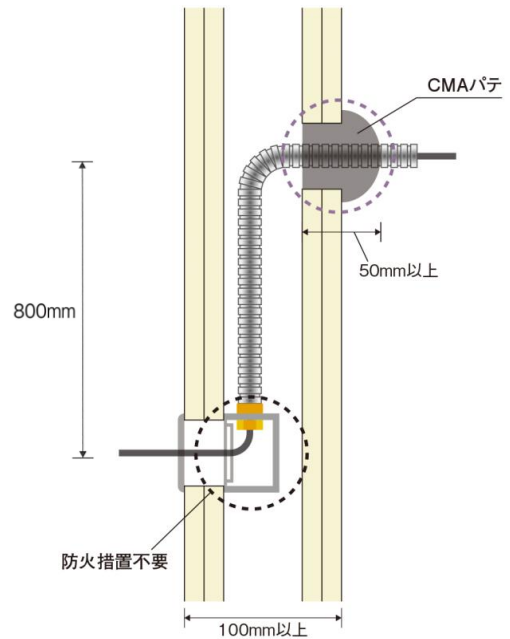


施工方法



- ・PF管貫通部開口は丸穴・角穴どちらでも対応しています。
- ・占積率は、PF管の開口面積(内径)に対するケーブル量になります。
- ・電線管口の措置は認定上、必要ありません。(小動物や空気の流動が気になる場合はCMAパテを管口に詰めても構いません)
- ・ケーブル単体では対応できません。

標準施工図

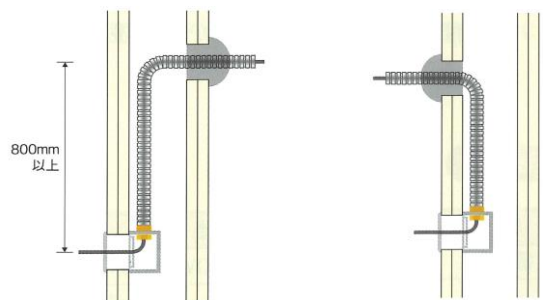


応用例

弊社では下図のような場合でも耐火性能と安全性を保有していると考えております。

尚、施工の際には所轄行政機関のご了承を得てから施工してください。

- ① 下部鋼製ボックスと上部開口の距離が800mm以上の場合
- ② PF管が同一壁方向に貫通した場合



※詳細は国土交通大臣認定書をご覧ください。